

「医療ひっ迫警報」

発令中

(1月17日～)

コロナ入院患者数の現状(長崎医療圏)

(公表日)	病床 使用率※	コロナ入院患者数				合計 ①+②
		コロナ受入医療機関①			コロナ受入 医療機関以外②	
		コロナ専用 病床	コロナ専用 病床以外	計		
第7波 ピーク (8/26)	77.9%	194人	73人	267人	160人	427人
第8波 (1/16)	66.8%	149人	126人	275人	236人	511人
現在 (1/22)	46.2%	103人	75人	178人	120人	298人

※病床使用率：コロナの最大確保病床数に対する入院者の割合

- **コロナ専用**に確保している病床以外(赤枠)にも、**いまだ多くのコロナ患者が入院**
- それに伴い、**一般医療への影響も続いている。**
- 加えて、**季節性インフルエンザも流行している。**

⇒予断を許さない状況

救急搬送の厳しい状況

救急搬送困難事案件数の比較（長崎市消防局管内）

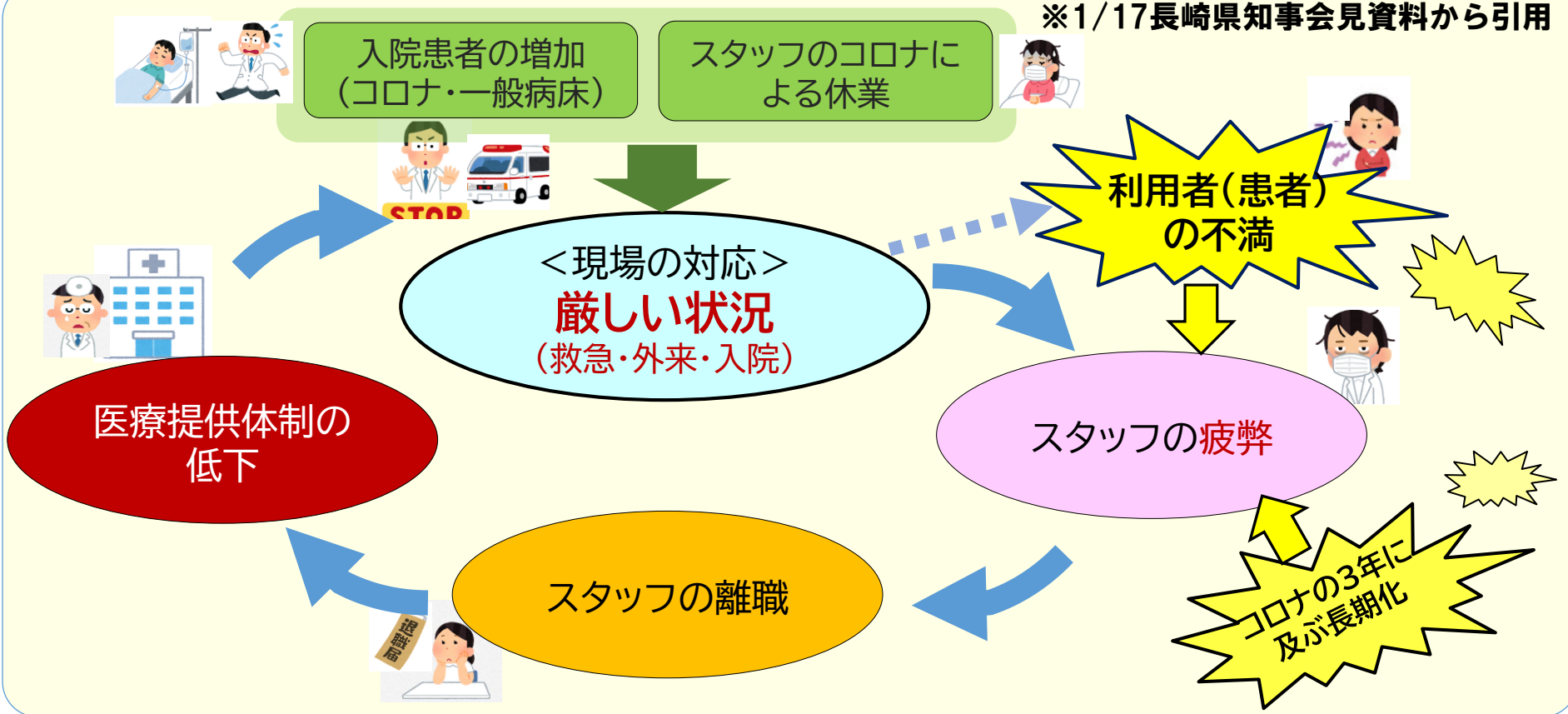
	12月 第1週 (12月5日～11日)	1月 第1週 (1月2日～8日)	1月 第2週 (1月9日～15日)	1月 第3週 (1月16日～22日)
1週間 あたり	21件	約3倍 → 62件	56件	24件

- 救急搬送困難事案が約3倍に急増し、その後も多い状況が続いた。
- ピーク時には即時対応できる救急車がない時間帯も発生した。
※(R5年1.1～1.10)即時対応ができなかった回数:12回
- 直近の1週間でも20件を超えており、厳しい状況が続いている。

**新規陽性者数は
減少傾向にあるものの、
医療機関のひっ迫は続いており、
長崎医療圏の医療提供体制は
予断を許さない状況**

医療提供体制のひっ迫が継続

※1/17長崎県知事会見資料から引用



(現場の声)

- ・ コロナによる入院患者の増加などにより、体制維持が難しくなっており、**現場は非常に厳しい。**
- ・ スタッフは疲労が限界にある中で懸命に努力しているが、入院の受入れができないこと等について、患者やご家族からご理解いただけない場合があり、**精神的にも厳しい。**

現在、医療が置かれている現状についてご理解をお願いします。

長崎市からのお願い①

重症者や重症化のリスクを抱えた方が、
必要な医療を適切に受けられるように

- **積極的なワクチン接種に、ご協力ください。**
- **発熱に備え、「コロナ抗原検査キット」と「解熱鎮痛剤」をご準備ください。**
- **症状をよく見たうえで、ご自身での検査、自宅療養等の対応にご協力ください。**
⇒自宅療養の過ごし方については、**市ホームページ**をご確認ください
- **重い症状以外の方で受診が必要な場合は、
できる限り平日の診療時間内に受診をお願いします。**

長崎市からのお願い②

- 発熱などの症状が出た場合には、慌てず、症状をよく見て、**対応フロー図(右図)**を参考に対応をお願いします。

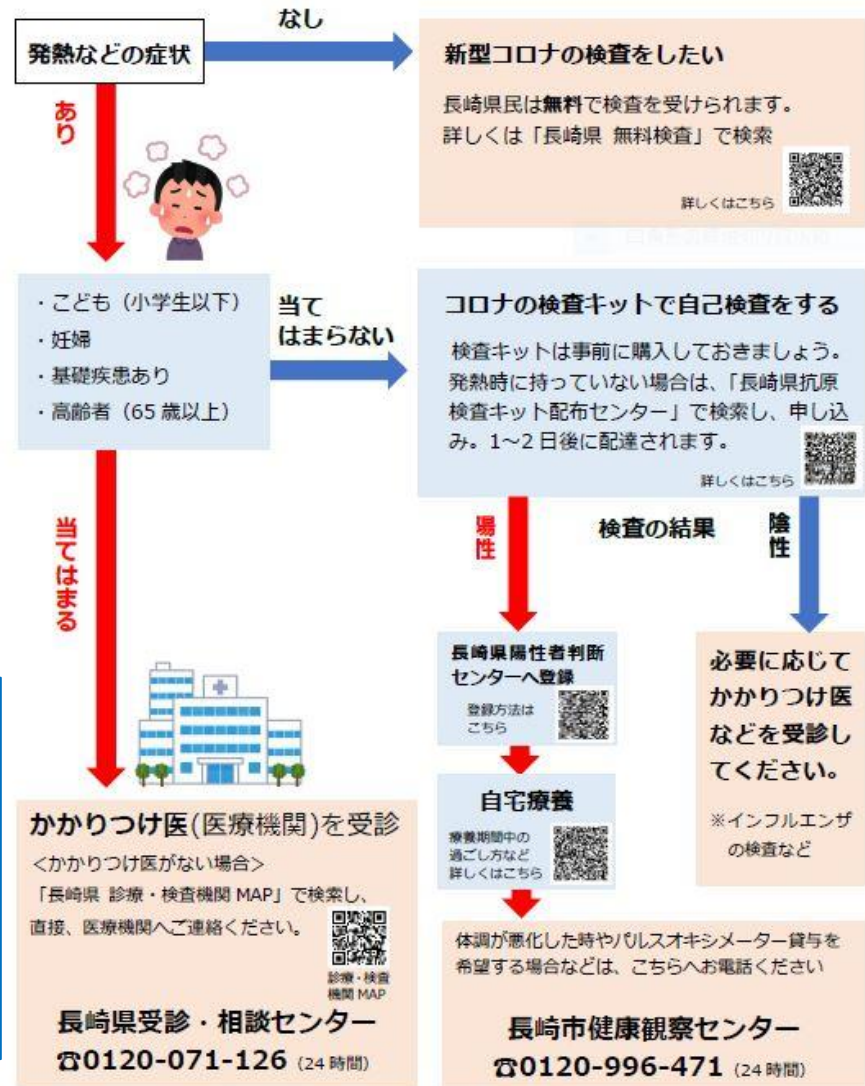
フロー図は市のホームページをご確認ください。

- かかりつけ医や相談窓口の電話番号を**事前に確認**してください。

発熱の症状がある場合で受診先に迷う場合
「長崎県受診・相談センター」
☎0120-071-126 (24時間)

新型コロナ陽性となった方の体調に関するご相談
「長崎市健康観察センター」
☎0120-996-471 (24時間)

新型コロナに感染した可能性がある場合、どこに連絡したらいいの？



長崎市からのお願い③

**長崎の医療を守り、
真に医療が必要な方を守るため
市民の皆様の
ご理解・ご協力をお願いします**

2023長崎ランタンフェスティバルのコロナ対策

密を避けるため、ステージは設置しません。

ステージイベントは、楽しくてつい長居してしまいます。観覧者が滞留して密にならないように、イベントは、状況を見ながら会場のスペースで行います。

飲食用のイートスペースを設けます。

会場のグルメは楽しみの1つですが、飲食時は、マスクを外してしまいますので、飲食用のイートスペースを設けます。

